支えあいのまちづくり協議体（日本橋地域）実施報告

中央区に住む方・働く方ができる支えあいの形について、身近な地域で話し合う「支えあいのまちづくり協議体（第2層協議体）」の令和４年度第４回目を、日本橋地域(日本橋公会堂)で開催しました。

１ 実施日

令和５年３月９日（木）16:30～18:00

２ 出席者

日頃高齢者と関わる機会の多い地域住民、関係機関、生活支援コーディネーター　計10名

３ 内容

・新任メンバー 紹介

・中央区地域支えあいづくり協議体(第１層協議体) 実施報告

・意見交換（日本橋地域の取り組み～広報物の作成～）

４ 中央区地域支えあいづくり協議体（第１層協議体） 実施報告

令和５年１月13日(金)に開催された『中央区地域支えあいづくり協議体』について報告。今回は「地域で高齢者が集う場や、インフォーマルなネットワーク」について３地域(京橋・日本橋・月島)に分かれて意見交換を交わした。高齢者が集まる場としてはフォーマルな施設(敬老館や区民館)に限らず、銭湯や公園、通りのベンチなどに高齢者が自然と集まり、会話を楽しまれている様子が見られると報告があったことを共有した。

５ 意見交換：日本橋地域の取り組み～広報物の作成～

前回の協議体で①日本橋浜町付近をモデルとした広報物の作成、②社会資源が把握できなかった地域の調査の2案が意見交換のテーマとしてあげられていたため、①・②どちらの内容で意見交換を行うか確認。協議体内で意識統一を図り、『日本橋浜町付近をモデルとした広報物の作成』をテーマとすることで合意した。

<u>意見交換１：高齢者が手にする広報媒体はどんなタイプか</u>

▽手軽に手に取れ、持ち運びができるものが使いやすい。

▽加齢に伴い、手指の乾燥や関節変形等により、紙がめくりづらくなる高齢者も多いため、配慮が必要。

▽杖歩行の高齢者は片手がふさがるため、A4裏表のような片手で持てる大きさの方が良いかもしれない。

▽折り畳み式の広報物があれば手軽さと地図の両立が可能なのではないか。

▽手軽に持ち歩けるタイプの広報物と、事業やサロンの内容が詳しく書いてある冊子タイプの広報物の ２ 種類があると良い。

▽エリアごとに作るとすれば、デザインを統一させて色分けするなどすれば、興味が湧く人が増えるかもしれない。

<u>意見交換2：どんな内容を記載すると高齢者のつながりづくりに活きるのか</u>

▽フォーマル・インフォーマルな資源までが掲載できそう。

▽これを見れば高齢者関係の情報がひと通り分かるような広報物があると助かる。

▽区外の方でも利用できるのか質問されることがある。参加条件等の情報を記載することも必要なのではないか。

▽費用負担があるのか、申込みや登録が必要なのか、介護認定が必要になるのかなど基本的な情報は外せない。
▽日本橋地域全体ではなく、より小地域(日本橋浜町,人形町,茅場町)に絞って作成したほうが良い。
▽事業内容が分かりづらいものも少なくない。「分からない」が「参加しない」に繋がっている。事業の説明を地図の裏や冊子に掲載してもよいかもしれない。事業ごとに色分けをするのも良い。
▽サロン活動や相談先の住所だけ記載されていても、目的地にたどりつけない。サロンマップ(中央区社会福祉協議会発行)のような地図より、目的地の場所が分かる地図や目印となりうるものが落とし込まれていると高齢者も使いやすい。また、案内する側も使用しやすい。
▽ベンチやトイレ、バス停など外出時に利用しそうな資源も地図に落とし込まれていると良い。高齢者の中には外出する際にトイレの場所を確認される方も少なくない。
▽地域ごとに分けて広報物を作成するのも良いが日本橋地域の主要施設にスポット(浜町公園エリア、日本橋公会堂エリア、十思スクエアエリア)を当てた地図、広報物でも良いのではないか。

意見交換 3:どんな場所に配架・掲示すると高齢者の手元に届くか
▽公的機関(日本橋公会堂,おとしより相談センター,浜町敬老館など・・・)
▽地域のサロン活動
▽デイサービス
▽日本橋浜町近隣の病院・クリニック
▽商店街・店舗

意見交換 4:広報媒体の作成に協力できる方について
情報の収集や確認は協議体メンバーで行うことはできそうだが、各団体や施設の情報を集約し、見やすくレイアウトしてくれる人が必要。経験がなくても、好きな方がいたらいいと思う。
→本日の意見交換では、広報物の作成に協力できる方は見つからず。今後、広報物作成にご協力いただけそうな方が思い浮かんだ際は事務局に連絡してほしいと説明。また、広報物の作成に伴い、下記の質問に回答した。
Q.広報物の作成に伴い、予算はどのくらい計上しているのか確認したい。
A.地域の方と一緒に作るという観点から 広報物の作成についても“ボランティア”として携わってもらいたいと考えている。そのため、デザインや広報を仕事としているような方への依頼は難しい。事務局では、印刷にかかる費用程度は負担できると回答。

6 今後のスケジュール
事務局より、令和5年度協議体開催日程の固定化を提案。メンバーからの賛同が得られたため、令和5年度上半期は、3の倍数月第1火曜日 16:30～18:00 に多世代交流スペース「はまるーむ」にて、協議体を開催することとなった。今後、日程調整の連絡は行わず、開催通知のみ会議開催の1ヵ月前に事務局より送付すると案内した。

次回:6月6日(火)16:30～18:00 多世代交流スペース「はまるーむ」

以上